

令和4年8月3日

3年ぶりのリアル開催!「福島わらじまつり」

第53回福島わらじまつりが3年ぶりにリアル開催します。

新型コロナウイルス感染症対策の対応をしての開催のため、例年の輪踊りによる開催から、 国道13号(信夫通り)の西側2車線を北から南へ進む流し踊りとし、観覧ゾーンを広めに とった開催といたします。

記

1 開催日 : 令和4年8月5日(金)~7日(日)

(1)5日(金)

6日(土)/本まつり

(2) 7日(日)/大わらじ奉納

2 本まつり参加者数:

約1,300人(26団体)

1日目:約700人(12団体)

2日目:約600人(14団体)

本ま フリの開催内谷(8/5、8/6 共連)					
時 刻	内容	備考			
18:00 ~	修祓式(しゅばつしき)	8/5(金)			
18:30 ~	わらじおどり I 部	終了後表彰式			
19:05~	大わらじ・ 創作わらじパレード①				
19:20~	わらじおどりⅡ部	終了後表彰式			
19:50~	大わらじ・ 創作わらじパレード②				
20:00~	フィナーレ	8/6(土)			

大士ついの則提内穴 (0/E 0/4 サる)

3 主な感染対策

- (1) まつり参加者 (演者)、スタッフ、観客共通
 - ①37.5℃以上の発熱や風邪症状のある方については「参加・来場自粛」。
 - ②手指消毒の徹底 →会場内の各所に消毒液を設置。
- (2) まつり参加者 (演者)、スタッフ
 - ①おどり手や太鼓の叩き手 →1 m以上の間隔を空ける。
 - ②太鼓のバチ、篠笛、おどり手がもつ「わらのわ」については個人専用とする。
 - ③大わらじの担ぎ手は「マスク着用」(担ぎ手同士の密接が不可避のため)。
- (3) 観客にお願いする対策
 - ①国道13号の片側車線を観覧ゾーンとして開放し、観覧は立ち見・観覧ゾーン内の みとする。また観覧の際は、互いに1m以上の間隔を空ける。
 - ②熱中症予防のための水分補給を除き、観覧中の飲食は最小限に止める。
 - ③会場では、アルコール類の販売・提供は行わない。

担当:商工業振興課 商業振興係 課長 尾形、課長補佐 渡辺 電話 024-525-3720 (直通)

3年ぶりのリアル開催!「福島わらじまつり」

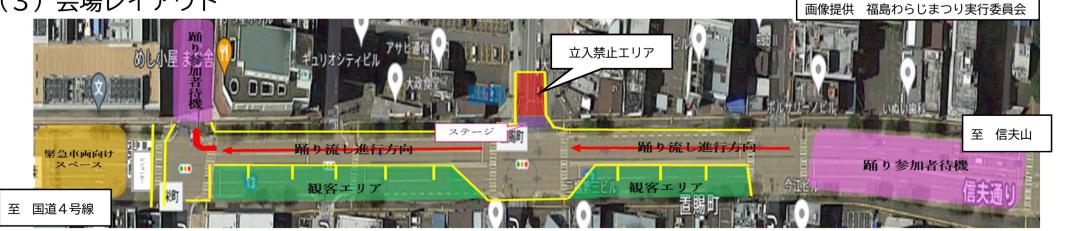
1. 第53回福島わらじまつり

- (1)<u>開催日/8月5日(金)~7日(日)</u>
 - ①8月5日(金)・6日(土)/本まつり
 - ②8月7日(日)/大わらじ奉納
- (2) 本まつりの参加者数:約1,300人(26団体)
 - 1日目/約700人(12団体)
 - 2日目/約600人(14団体)

(3) 会場レイアウト



本まつりの開催内容(8/5、8/6共通)						
時 刻	内	容	備	考		
18:00~	修祓式(しゅは	ばつしき)	8/5 (5	金)		
18:30~	わらじおどり]	[部	終了後	表彰式		
19:05~	大わらじ・創作 パレード①	作わらじ				
19:20~	わらじおどりI	I部	終了後	表彰式		
19:50~	大わらじ・創作 パレード②	作わらじ				
20:00~	フィナーレ		8/6 (=	±)		



3年ぶりのリアル開催!「福島わらじまつり」

2. 主な感染対策について

- (1) まつり参加者(演者)、スタッフ、観客共通
 - ①37.5℃以上の発熱や風邪症状のある方については「参加・来場自粛」
 - ②手指消毒の徹底 →会場内の各所に消毒液を設置
- (2) まつり参加者(演者)、スタッフ
 - ①おどり手や太鼓の叩き手 → 1 m以上の間隔を空ける
 - ②太鼓のバチ、篠笛、おどり手がもつ「わらのわ」については個人専用とする
 - ③大わらじの担ぎ手は「マスク着用」(担ぎ手同士の密接が不可避のため)
- (3) 観客にお願いする対策
 - ①国道13号の片側車線を観覧ゾーンとして開放し、観覧は立ち見・観覧ゾーン内のみとするまた観覧の際は、互いに1m以上の間隔を空ける
 - ②熱中症予防のための水分補給を除き、観覧中の飲食は最小限に止める
 - ③会場では、アルコール類の販売・提供は行わない



